

# 天理教基礎講座

天理教の紹介とともに、その教えを通して  
人間本来の幸せな生き方を考える講座です (本部 HP より)



## 函館会場



第 590 号

発行所  
天理教北海道教務支庁  
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目  
電話 011 (561) 1148  
FAX 011 (561) 1190  
E-mail tenrikyo.hk@gmail.com  
ホームページ  
<https://tenrikyohk.com>

### 基礎講座

去る 7 月 9 日 (日) 函館会場にて、天理教基礎講座を開催致しました。教務支庁からは車で 4 時間、私の地元からですと 7 時間半かかり、移動中は北海道の大きさを体感しました。

今回は、高橋太志先生を講師に、基本教理とおちばがえりの意義をわかりやすく伝え、39 名の方にご受講いただきました。予想を越える受講者の数に、受付時は椅子を何脚も追加し、会場いっぱいとなりまして、函館会場に沢山の方が心を込めて声掛けをしてくださったこと、大変有難く御礼申し上げます。事務局は前日に函館入りさせていただきましたが、会場の下見後、局員が函館の友人に、基



受付



講座の様子

礎講座のお誘いに歩いてくれました。当日は、2 名の友人が基礎講座を受講してください、最後の最後まで声を掛けることの大切さを私自身学びました。また、基礎講座の後日、はじめて受講頂いた方から連絡があり、今回の受講を機に、おちばへ帰り、別席を運びたいとのことでした。大変有難く嬉しい出来事となりました。

今回は、8 月 20 日 (日) 教務支庁会場にて、基礎講座を開催致します。おちばへの入口として、一人でも多くの方に親の思いが届くよう、精一杯つとめさせていただきます。どうぞ基礎講座への声掛けと、ご受講のほどよろしくお願い致します。

(事務局長 佐藤元展)



ヨガでリフレッシュ

TENRIKYO

## 基礎講座

8/20 (日) 13:30-15:00

初田 寿男 教務支庁  
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目

2023 年 8 月 20 日 (日) 教務支庁会場

次回は 8 月 20 日 教務支庁にて

教祖 140 年祭

すべて喜び  
すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

### 布教の家実行会

布教の家北海道寮では、6月28日、29日に1泊2日で第1回布教の家実行会を開催した。

実行会は、布教を志す教友が集結し、お互いに励まし勇ませ合いながらにをいがけに歩くことで今後の布教活動の力を得ることを目指すと共に、来年度布教の家開寮に向けての理づくりとして開催された。

一日目、はじめに教区長先生・寮長先生より、にをいがけへの熱い思い、不思議な神様のお働きなどのお話を聞かせて頂いた。

熱の入ったお話により、全体が勇みの雰囲気にもまれた所でありあへ。参加者の中には布教への悩みや葛藤を打ち明け方もおられ、経験豊富な育成員のアドバイスによりスッキリした気持ちになる場面もあり、充実したねりあいと



路傍講演

めのは、布教寮の食堂で夕食を頂き

ながら

親睦を深

め、布教

やおたす

けの話で

大いに盛

り上がっ

た。



神名流し

目、神殿掃除、朝づとめ、朝食を済ませていざ実動！

お願いづとめの後、参加者14名で教務支庁から大通公園まで

声高らかに神名流しをつとめ、その場で3ヶ所に分かれて道行

く人たちに向かって全員が路傍講演をつとめた。その後は2人

1組になり、戸別訪問やパンフレット配りを、とても暑い中で

はあったが、お互いに気持ちを高め合いながら勇み心でつと

め、にをいがけ実動を行なった。その後、数人に感想を伺った

が、参加者の皆さんの表情がとても清々しく、勇んだ気持ち

ひしひしと伝わってきた。「にをいがけをしたからと

いって、目に見えるご守護はすぐにお見せ頂けないかもしれな

いが、親神様・教祖がお喜び下さり、必ず私たちが良い方向へ

とお導き下さることを信じる」

また今年5月に修養科を修了した小川剛一さん(洲本・弥生分ようぼく)は、所属の会長さん

に、にをいがけをさせてもら

らつたらと勧められ、その後は、三年千日の心定めとしても自ら

も布教活動をしているが、「みんなと一緒に歩かせて頂き、とて

も勢いを感じさせてもらった。断られても明るく勢いがあっ

た。今後も年祭活動として続けさせてもらいたい。」と話した。

実行会は、本年秋頃に第2回目を開催予定

です。にをいがけ経験の有無に関わらず、多くの方

と共に布教の勉強をさせて頂き、年祭活動の弾みにしたいと考えて

おりますのでご参加の程よろしくお願い致します。

最後に、にをいがけに関してご相談などございましたらお気軽に布教の家までご連絡くださ

い。また、来年度、布教の家開寮に向けてのお声かけ、どうぞ

よろしくお願い致します。(布教の家副寮長伊月秀和)

### 定例にをいがけ

布教を志す者の会「やまびこ会」では、6月29日と7月15日

に定例の布教活動を行った。6月は、布教の家実行会と合

同で実動。7月は、6名が参加し、戸別訪問の演習と実際に

にをいがけにまわり戸別訪問をした。

「やまびこ会」は、にをいがけに歩くだけではなく、戸別訪問の演習を行う時もあり、今回

は、誰もが苦手とする声掛けや、続けるコツを共に学ぼう

と、参加者個々のにをいがけのスタイルや、体験

談、日頃の信仰生活について話し合い、親近感や

高揚感を高め、声掛けのポイントを整理して、苦

手意識を払拭してコツコツと続ける事ができるこ

とを解説し、声掛けの演習を行い、その後、戸別

訪問にまわった。初参加者からは、「戸別訪問

の緊張もあるが、事前に参加者同士でトークがあり、心の準備

もできて、二人での訪問だったので、少し不安だった私にはと

てもよい経験ができました。」と感想を頂いた。

次回は8月26日午後1時30分教務支庁集合です。(代表藤野充普)

### 支部担当者会議

#### 学生担当委員会

学生担当委員会(高橋清彦委員長)では、7月1日、教務支

庁にて前期支部担当者会議を開催し、17名が参加した。

はじめに委員長挨拶。続いて活動報告、今年度予定説明。そ

の後、高橋学担当委員長と松村学生会委員長が今後の学生会の展

望を話した。支部担当者の意見交換では、

今期のテーマ『つなぐ、伝える、共に育つ』の2年目の伝えるこ

とを意識した活動を展開していくために委員、支部担当者と心

を一つにするために意見の共有をした。

また、学生会の現状は支部ごとに異なるが、引き続き、学生

同士を繋ぐこと、支部担当者として学生を繋ぐ教区からのサポ

ートが必要であると実感し課題もみえた。支部ごとにおかれた環

境の中でも頑張っている話も聞くことができ、お互いが励みとな

る会議となった。高橋委員長は、「今後もコン

スタントに行事続け、学生に繋がりあう喜びを実感してもら

う努力を続けたい。」と語った。

### 感謝の歩み

— 教区主事  
網走支部長 倉内章次 —



昨年4月に奥村教区長の下、北海道教区の新体制が始まり2年目となり、私も網走支部長を務めさせていただき、早いもので4期目となりました。さらに、教区主事としても3期目になり、教務支庁に向かせて頂いても、私の顔を分かっていただけの方が少しずつ増えてきたように思います。誠にありがたいことです。

私が教祖百年祭の前年12月に、天北分教会の三代会長のお許しを戴き、年祭終了後、2月本日月次祭参拝して、車で奈良から東京へ行き、フェリーにて釧路港、そこから清里町という順路で移動、ようやく教会に着。四国生まれの妻と4歳の息子、妻のお腹にいた娘（6月に出生）という家族が、いきなり真冬からの北海道生活、最初2年ぐらいは驚くことや失敗ばかりでしたが、神様の御守護はいうまでもありませんが、信者でない隣近所の方々に本当に助けていただき、お連れ通りいただきてまいりました。

支部長先生が支部内を良く分けるようにとのご指示により、組長を務めさせて頂き、その年に青年会委員長に、次いで災害救援隊長・福祉厚生部長・総務部長・文化広報部長（支部社友）・育成部長・教務部長などを切れ目なく、また兼務して務めさせて頂きいただきました。誠に微力では



ひとつ心になって「ひながた」を目標にたすけ一条の歩みを推進しようとしています。その中、昨年5月から教区運営委員会が立ち上げられ、各期の代表でない主事8名で組織され、不肖私が委員長を務めさせて頂いております。この運営委員会は、各各各の活動・行事の計画書・予算案を基に部会代表者から事前に内容説明を受け、それを精査し庁舎使用日程等の調整、部会相互の協力体制等の構築を語り、中立的見解にたつて各活動に対する積極的な後押しをすること。そして行事終了後は、報告書・決算書を基に結果説明を受け、適正に行われたかの判断を行い、改善点等があれば指摘より良い活動につなげて行くことを目的として、毎月当番制で3名ずつが対応しています。その結果、各主事が各各各の活動内容が良く分かることも、各各各会における行事に対する取り組みや予算執行に今以上に責任感が強くなってきているように感じております。今後、この運営委員会のあり方を、随時協議しながら進めてまいりたいと考えております。ご意見等があればいつでもお伝えください。

### 教理勉強会

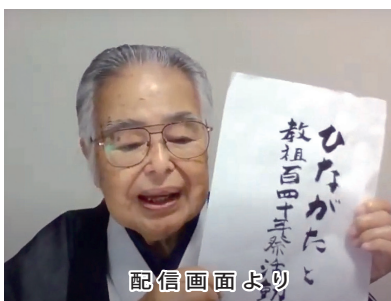
布教部

布教部（内田誠司部長）では、7月2日に教理勉強会を開催しました。

年祭活動において実動するためには、親神様の御守護、おやさまの教えを揺るぎない信念として心に据えて通る事との思いから教理勉強をさせて頂こうと、元の理、おやさまひながたの研究に造詣が深く書籍を多数出されている南華分教会前会長松谷武一先生を講師に、遠く大阪の教会からZoom（ビデオ会議アプリ）を通し、またYouTubeでの同時配信で「ひながたと教祖140年祭活動」をテーマにお話いただいた。

教区布教部は、「布教と伝道」を柱に進んで頂きたいという奥村教区長の思いのもとスタートしたが、コロナ禍という事で昨年度は、ほとんど活動出来ない状況が続いていた。しかし、コロナウイルスという経験した事のない事情のおかげで、一離れていても会議が出来る。離れていても先生のお話を聞かせて頂ける。— というこれまで想像できなかった新し

いスタイルを教えて頂き、ありがたいことだと喜んで準備を進め当日を迎える事ができた。はじめに奥村教区長より挨拶。続いて松谷先生の講話となり、先生ご自身が「おやさまを求めはじめたお話では、「おやさまを求めていくと好きになり、好きになるとおやさまの教えを知りたくなり、教えを知ることによってその思いが感じられ、心に入るから実行できる」また「教祖140年祭三年千日祭活動に私たちが実行するためにも、教祖にお仕える事を生きたいにして精一杯通ることが今大切である」と話された。最後に内田布教部長の閉講挨拶をもって閉会した。



配信画面より

※こちらから動画を視聴できます



### 支 部 総 会 報 告

#### ●十勝支部

十勝支部（郷司諭支部長）では、7月1日、十勝分教会を会場に4年ぶりに支部総会を開催し、40名が参加。

座りづとめ、よろづよ八首をつとめ、教区長メッセージを代読。各会の報告、計画等が発表され、その後、班ごとのグループワークで、テーマに沿ったねりあいを行った。

#### ●札幌白豊支部

札幌白豊支部（山田幸雄支部長）では、7月9日、羽幌分教会を会場に支部総会を開催し、鳴物を入れて全員で座りづとめ、十二下りのてをどりを総立ちでつとめた。

その後、奥村とう子教区婦人会主任の記念講演が行われた。

#### ●北見支部

北見支部（長尾正人支部長）では、7月9日、本訓分教会を会場に、4年ぶりに婦人会おつとめ総会と合同で支部総会を開催。大人45名 子供10名が参加した。



6月29日は、教務支庁周辺のゴミ拾い、神殿畳拭き、庁舎の窓、部屋掃除を実施し、33名が参加。  
※9月、10月は、ふせこみひのきしんの日程が変更となります。  
8月29日 通常通り  
9月23日 変更  
10月22日 変更



神殿の畳拭き



部屋掃除

●ふせこみひのきしん  
教務支庁にて毎月29日

### 新教会長さん紹介

(令和5年6月26日お運び)

小樽支部 開道分教会(平安)

奉告祭 9月9日



石岡 啓輔 氏  
37歳

### 北海道教務支庁日誌抄

- 7月1日 青年会 Meets!
- 編集長会議
- 学生担当委員会
- 前期支部担当者会議
- 2日 一手一つお願いづとめ
- 支部長会議
- 布教部教理勉強会
- 札幌中南支部例会
- 4日 基礎講座 函館会場
- 9日 教区長 日高支部総会
- 15日 やまびこ会
- 16日 会計部会議
- 21日 教区報編集会議
- 22日 災害対策委員会
- 25日 おうた合唱団練習
- 26日 教区長 本
- 29日 本部月次祭 選択式
- 30日 たすけ推進会議
- 教務支庁 ふせこみひのきしん
- 少年ひのきしん隊
- 本部練成会(8/1)
- 教区長 帰庁

### TOPICS

クラーク記念国際高等学校(深川市)野球部が、春に続いて甲子園大会に出場します。その中心メンバーに、教会長子弟の安倍政信君(幅下大教会・愛葉分教会)がいます。さらなる健闘を期待します。(教会は愛知県江南市に所在)

### けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭 選択式を午前10時より行っています。

### 計 報

立教一八六年・令和5年

- 大竹 一也 様 3月27日出直(91歳)
- 元余市支部長
- 余澤分教会前会長 (余市支部)
- 若松 久義 様 6月9日出直(95歳)
- 元札幌白豊支部長
- 白豊分教会前会長 (札幌白豊支部)
- 嶋本 幸男 様 6月10日出直(93歳)
- 久壽里分教会前会長 (鉦根支部)
- 間藤 富二雄 様 7月7日出直(85歳)
- 北勵分教会前会長 (北見支部)